

令和2年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

(2学年)

1 単位時間の時間 (50) 分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
一学期	4	進路希望調査	探究的な学習を実現するため、「①課題の設定→②情報の収集→③整理・分析→④まとめ・表現」の探究のプロセスを十分理解させる。	次の観点に基づき、評価する。	1
	5	進路講演会	講師を招き、大学受験の現状を講演してもらい、生徒個々にリサーチクエスチョンを立てる。	(1) 適切な課題を設定している。自ら学び、主体的に課題を解決する資質や能力が高まっている。	2
	6	大学受験のいろいろなパターンを知る	進路部より推薦、A0入試等について生徒に説明する 生徒は「進路の手引き」並びに図書室やインターネットを活用し、データを収集する。	(2) 長期休業中や放課後に積極的に調査・研究ができています。 (3) 学習活動に意欲的に取り組み、自己の在り方、生き方を考える素質が養われている。	2
	7	進路希望調査 適性検査 進路講演会	キャリア教育支援ツールの実施と自己分析 教育支援アドバイザーによるキャリア教育講演 生徒は興味を持った職業について調べ、ポスターセッションを行う。	(4) 自主的な学習により、学習成果が上がっている。 (5) 1年間の成果をまとめることができている。	2 2
	8	オープンキャンパス訪問	生徒は興味を持った大学を訪問し、訪問記録を作成する。	各回ごとのレポート作成や観察、自己評価や相互評価により、生徒にどのような力が付いたか上記の観点から評価する。	8
二学期	9	地域研究	東北と北海道の歴史・文化・自然・環境等について調査し、ポスターセッションを行う。もの、ことに関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域や社会の特徴やよさに気付き、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることに気付く。		5
	10	学際的研究	大学より講師を招き、生徒に多様な学部について説明する。		2
	11	進路講演会	教育支援アドバイザーによるキャリア教育に関する講演を聞く。		2
	12	中間発表	グループごとに進捗を報告し合う。3学期は「3年0学期」になることを生徒に意識させる。		2
三学期	1	卒業生講演会	現役合格者の話を聞き、アドバイスを受ける。		2
	2	小論文指導	小論文作成について指導する。		1
	3	発表会・1年間のまとめ	リサーチ結果の発表 小論文の作成・完成		2
配当時間数の合計			キャリア教育を中心に据える。週時程外で1単位実施し、進路指導部と2学年が連携して行う。(16名)		35